



当院の正面玄関前のしだれ桜は、ソメイヨシノに遅れること数日、4月15日頃に満開を迎えました。

さて、当院ではこの春から職員の職員証を一新し、下写真左のようにしました(右は従来の顔写真の入った職員証)。職員の個人情報を守ることを第一に考え、きわめてシンプルなものにした次第です。ご理解よろしくお願いたします。



前号で紹介したように、この度、渡邊事務長が上越総合病院から当院に赴任されました。挨拶文を掲載させていただきます。

「このたび、4月1日付で事務長を拝命いたしました渡邊孝と申します。着任して早々ですが、今年度の当院には二つのミッションがあります。

一つは10月を予定している電子カルテの導入です。導入当初は診療や会計に時間がかかってしまうこともあろうかと思いますが、患者様や地域の医療機関も皆様にできるだけご不便をおかけしないようスムーズな導入を心がけて行いたいと考えております。もう一つは診療報酬改定への対応です。多くの医療機関において今回の改定は非常に厳しい内容となっており、当院もその例外

ではありません。多くの課題を解決しながら、健全な収支状況を目指して取り組みたいと考えております。

微力ではありますが、“地域の中核病院として心温まる医療を提供し保健・福祉を積極的に推進する”という当院の掲げる理念に基づいて、地域における当院の役割を果たすための病院づくりに取り組んでいく所存があります。引き続き地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」



4月20日(土)に日本農村医学会新潟地方会第73回例会が開催されました。これは、新潟県にある厚生連病院における学会で、今回は一般演題35題(看護師の発表はこのうちの10題、他は医師、薬剤師や事務など多くの職種の方々が発表)と、『患者と医療者が協働する医療を目指して』という特別講演を“認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML”の山口育子氏からいただきました。我々医療に携わる者は日々学びまた経験や成功・失敗例の共有が必要と思われました。また、医療職と患者さんとの間にコミュニケーションが重要で、病気に立ち向かうため協働が必要と再認識できました。非常に有意義な学びの場であったと考えています。

発行責任者・文責：豊栄病院広報係 宮島 透